

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 着床期胚浸潤に着目した妊娠成立機構の解明
2. 研究代表者： 藍川 志津（東京大学 医学部附属病院 特任研究員）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本研究課題は、胚の子宮内膜への浸潤の過程に着目し、子宮内膜がどのような分子シグナルによって胚・子宮内膜間相互作用を制御しているのかを解明することを目的とする。フェーズ1では、胚発生と着床メカニズムにつながる研究を着実に進め、子宮内膜接触面での胚浸潤を制御しているシグナルを見出すなどの成果を挙げた。フェーズ2では、適切な計画が立案されており、成果が期待され、さらに、ヒトと動物モデルとの比較解析を通じて、普遍的な因子の解明を進めることを期待する。

以上